

新規有効成分のいもち剤
水稲安定生産へ大きな期待

三井化学アグロ
北興化学

三井化学アグロ㈱と北興化学工業㈱は、いもち病防除の新規有効成分トルプロカルブを含む水稲用殺菌剤と殺虫殺菌剤を今季から販売している。いもち病は、昨年は西日本を中心に多くの県で

注意報が発令された。既存剤への耐性菌の発達も問題となっている中、新規作用をもつ同成分含有剤は水稲の安定生産への貢献が期待される。

トルプロカルブを含む剤には、本田処理用の殺菌剤「サンブラス粒剤」「ゴウケツ粒剤」、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイの防除にも有効な混合剤の「ガッツ



殺菌剤「サンブラス粒剤」Ⓔと「ゴウケツ粒剤」

スター粒剤」「ゴウケツモンスター粒剤」がある。問い合わせは三井化学アグロ㈱技術普及部、☎03(5290)2757、北興化学工業㈱営業部、☎03(3279)5161。